

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01固定資産取得費

事務事業番号 01010110

事業名		医療情報システム更新事業		担当部署	市立病院事務部 経営管理課				
根拠法令									
令和3年度決算額	495,338	千円	項目評価				総合評価 A		
財源内訳	国道支出金							千円	
	地方債	495,300						千円	
	その他							千円	
	一般財源	38						千円	
事業費（総計）	497,451	千円							
決算額	495,338	千円							
人件費	2,113	千円							
事業の目的	医療情報システム（電子カルテシステム、オーダーリングシステム、医事会計システム、各部門システム、ハードウェアを含む。）を更新し、システムの安定稼働を図ります。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>令和2年度末で保守期間が終了する医療情報システムのハードウェアについて、その後もシステムの継続した安定稼働を実現するために更新しました（債務負担行為）。 更新するハードウェアでは動作しないシステムのみを最新化し、継続して使用可能なソフトウェア及びハードウェア（一部サーバ、プリンタ・モニタ等の周辺機器）は、継続して使用することで費用を縮減しました。</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度			
項目評価	高→低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●							安定した医療を提供するために医療情報システムが果たす役割は大きいことから、「4」としました。
	効率性	●							一部の機器を継続して使用することで費用を縮減したことから、「4」としました。
	公平性	●							高度で安心・安全な医療を提供するために必要なシステムであることから、「4」としました。
将来性		●			今後も保守期限等を勘案しながら、継続的に機器を管理していく必要があることから、「3」としました。				
総合評価	A				業務に大きな障害等を起こすことなく、効率的に機器を更新することができました。安定した医療を提供するために欠かせないシステムであるため、今後も適正に管理しながら運用していきます。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01固定資産取得費

事務事業番号 01010111

事業名		医療機械器具整備事業		担当部署	市立病院事務局 経営管理課	
根拠法令						
令和3年度決算額		526,801	千円	項目評価		
財源内訳	国道支出金	316,371	千円			総合評価 A
	地方債	197,600	千円			
	その他	6,489	千円			
	一般財源	6,341	千円			
事業費（総計）		528,914	千円			
決算額		526,801	千円			
人件費		2,113	千円			
事業の目的		東胆振・日高の医療圏域を対象としており、高度な医療需要に対応した医療機器の導入や更新等の整備を進めます。				
事業の内容 SDGs17の目標 		主な機器の整備内容 一般X線撮影装置 【機器の説明】 肺炎等の診断のために用いるX線撮影装置 【整備の理由】 従来機の購入から16年が経過していたことに加え、FPD（フラットパネルディテクタ）を用いたX線撮影により、被ばく量の低減や撮影時間の短縮、患者の体位変換に係る負担減などが期待できるため。				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度
		医師数	人	75	76	73
		紹介患者数	人	7,168	7,412	8,995
項目評価		高→低 4 3 2 1	評価の理由			
有効性		●				医療機器の更新等は、医師の確保や質の高い医療の提供に大きく寄与するものであるため、「4」としました。
効率性			●			整備したすべての機器を費用対効果の点から判断することは難しいものの、医療現場の声をもとに、より効果的な機器を選定していることから、「3」としました。
公平性		●				機器の更新や整備は、東胆振及び日高圏域の中核病院として高度な医療を提供するために必要不可欠なものであることから、「4」としました。
将来性		●				本事業は、機器の購入による医療水準の向上に寄与するとともに、医師の確保などを通じた将来的な診療体制の構築に資するものであるため、「4」としました。
総合評価		A		項目評価のとおり概ね目的に適った事業を行うことができていますが、今後も安定した医療体制を実現するため、医療スタッフの確保に向けた魅力ある病院づくりを進めていきます。また、圏域内の高度急性期及び急性期医療の提供を維持するとともに、地域包括ケア病棟などを活用した「切れ目のない医療」の提供を目指し、医療技術の進歩に合わせた高度医療機器の計画的な整備を行ってまいります。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 03長期貸付金

目 01学資金貸付金

事務事業番号 01030112

事業名		学資金貸与事業		担当部署	市立病院事務部 経営管理課																																		
根拠法令		苫小牧市立病院学資金の貸付けに関する条例																																					
令和3年度決算額		31,800	千円	項目評価																																			
財源内訳	国道支出金		千円																																				
	地方債		千円																																				
	その他	11,900	千円																																				
	一般財源	19,900	千円																																				
事業費（総計）		33,209	千円																																				
決算額		31,800	千円																																				
人件費		1,409	千円																																				
事業の目的		将来、当院で看護師等の業務に従事しようとする優秀な人材の育成及び確保を目的として、看護師等養成機関の就学者に対して学資金を貸与するものです。																																					
事業の内容 SDGs17の目標		<p>将来の必要人員を踏まえ例年9月・3月に募集し、予算の範囲内で最大限制度の活用を図っています。具体的には、看護師免許取得可能な道内の高校・大学・看護学校等に対して資料を送付して利用を呼び掛けています。</p> <p>【令和3年度 決算額】</p> <table border="0"> <tr> <td>看護師</td> <td>51人</td> <td>×</td> <td>50千円/人</td> <td>×</td> <td>12か月</td> <td>=</td> <td>30,600千円</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>×</td> <td>50千円/人</td> <td>×</td> <td>11か月</td> <td>=</td> <td>550千円</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>×</td> <td>50千円/人</td> <td>×</td> <td>9か月</td> <td>=</td> <td>450千円</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>×</td> <td>50千円/人</td> <td>×</td> <td>4か月</td> <td>=</td> <td>200千円</td> </tr> </table>						看護師	51人	×	50千円/人	×	12か月	=	30,600千円	看護師	1人	×	50千円/人	×	11か月	=	550千円	看護師	1人	×	50千円/人	×	9か月	=	450千円	看護師	1人	×	50千円/人	×	4か月	=	200千円
看護師	51人	×	50千円/人	×	12か月	=	30,600千円																																
看護師	1人	×	50千円/人	×	11か月	=	550千円																																
看護師	1人	×	50千円/人	×	9か月	=	450千円																																
看護師	1人	×	50千円/人	×	4か月	=	200千円																																
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度																															
		学資金貸与者数			人	54	57	58																															
項目評価		高→低				評価の理由																																	
		4	3	2	1																																		
有効性		●				安定した医療提供体制の実現には医療スタッフの安定確保は不可欠であり、当該事業の果たす役割は大きいことから「4」としました。																																	
効率性			●			当該事業による入職者の定着率が高いことから「3」としました。																																	
公平性		●				市内外の高等学校や当院ホームページでの周知により、広く公募していることから「4」としました。																																	
将来性		●				当院は地域医療を守るとともに、良質な医療を提供していくことが求められ、当該事業の果たす役割は大きいことから「4」としました。																																	
総合評価		A				評価項目のとおり目的に適った事業を展開できています。次年度も当該事業の活用によって優秀な人材を確保し、地域医療に貢献していく考えです。																																	
特記事項																																							